

サクラソウ日記

(自分に自信と夢を~いまをだいじに、なかまとともに、一步前進をめざして) 校長 宮脇真一

5月に入りました。1日の朝、子どもたちの登校はややゆっくり。挨拶もトーン低め。頑張ってきた4月の疲れも少しあるようです。

明日から連休の後半に入ります。家族と過ごしたり、時には出かけたりする機会もあるかと思えます。どうぞ事故や病気など気をつけて、充実した休みとなりますようお願いしております。



種の大きさは0.1ミリメートル
(2023/5/1 撮影)

あいさつをする ~本校で大事にしていること~

大津小学校では人権教育の充実を全ての教育活動の根底に置くことを前回の通信で書きました。相手を大事にする、自分を大事にする。このことは、子どもたちにも職員にも機会を捉えて話しています。そして、その第一歩は「挨拶をする」ことであることも、繰り返し話しています。

私事ですが、かつて、熊本県立劇場で館長をされた鈴木健二先生の勉強会に半年間参加したときのことで。鈴木先生は「挨拶」について、次のようにお話しされました。

「挨拶」とは、心を開いて相手に向かうこと

相手に真正面に向き合い、受け止めること。まずはここからと考えます。2月の研究発表会の折、多くの方が子どもたちの「自然体の」挨拶に感動しておられました。本校の先生たちは、廊下で出会った子どもたちに自分から挨拶していくことを確認し実行しています。また、朝の交通指導で子どもたちを見守っていただいている保護者や地域の皆さんも、目の前を通過していく子どもたちに、一声かけていただいています。大津小学校と周りの地域のありがたい伝統です。

そんな中、現在の6年生は、昨年度の年度末、学校評価アンケートの結果を分析する授業を行いました。保護者の方からのアンケートの回答を当時の5年生が分析し、「地域での挨拶がまだまだ足りていないこと」を課題として挙げています。防犯対策、コロナ対策の中で、なかなか地域の方との挨拶に躊躇する状況があるのも事実ですが、一步前進の今年は、こども、教員、保護者・地域の皆さんとともに、「顔が見える」状況で、さらに「心を開いて相手に向かう」ことができればと思います。

頼むぞ! ~結団式を行いました~

「情熱」「凡事徹底」「一生懸命」「協力」という、応援団4つのキーワードのもとに集まった応援団。今年の運動会の成功を支えるなかまとして、気持ちを確かめる結団式を行いました。



【今年は赤・青・白の3団で運動会】

「行事は必ず君たちを成長させる。ともに頑張ろう。頼むぞ!」とエールを送っています。各団の取組が連休明けから始まります。応援団を中心とし、全員で一步前進を目指します。

